

## 熊野神社経筒

熊野神社の経筒は、高さ一三センチ、口径四・六センチの銅製経筒で、銘文に、

「妙法蓮華経

新宮熊野山経筒

応永十年癸未六月廿九日

筆者 慶海

作者 禅藤

申口所 弘尊取持」とある。

応永十年は、一四〇三年である。

所在地 慶徳町新宮字熊野 熊野神社



## 相撲力士像

赤と白に彩色された力士の木像は、小柄であるが力強さをよく表している。「新編会津風土記」によると、力士像は二対あり、一対は作者知れずもう一対は運慶作とあるが、図示された形から見て運慶作のものとは違うようである。

熊野神社の相撲は、当社創建のころ源義家が相撲で合戦の勝敗を占ったことに始まったとされ、毎年六月の祭礼の際に、十

五番の相撲がおこなわれたといわれている。塩川町にある「万力」「能力」等の部落名も、昔この相撲のときに、十五番の勝負に勝ったものの名乗りによって改めたものという。

所在地

慶徳町新宮字熊野 文殊堂

